CASBEE® 名古屋　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市独自の地球温暖化対策等マニュアル2016　使用評価ソフト：CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要

建物名称	西区牛島オフィス事業所棟	階数	地上2F
建設地	名古屋市西区牛島町	構造	木造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	44 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2026年9月　予定	評価の実施日	2026年9月8日
敷地面積	686 ㎡	作成者	
建築面積	253 ㎡	確認日	2026年9月8日
延床面積	505 ㎡	確認者	

1-2 外観

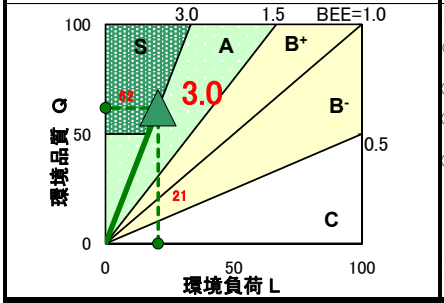
外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

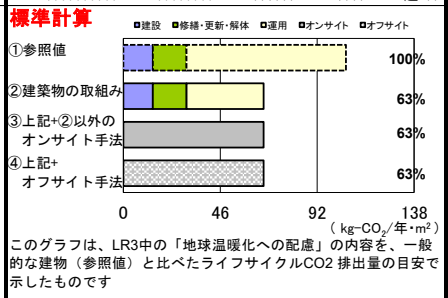
BEE =3.0

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



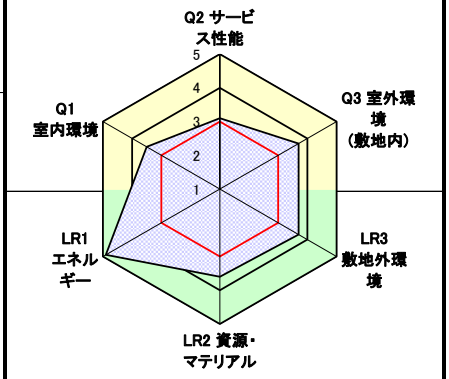
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

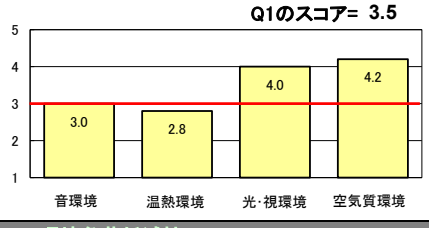
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



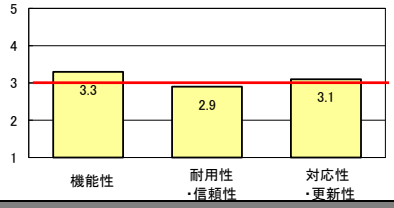
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.4

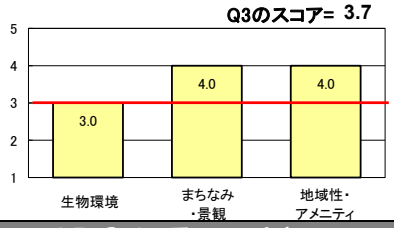
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.5



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.1

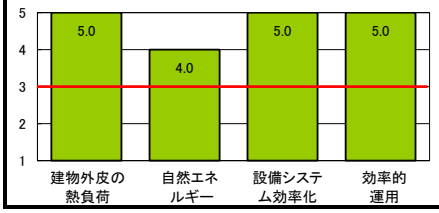


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 3.7

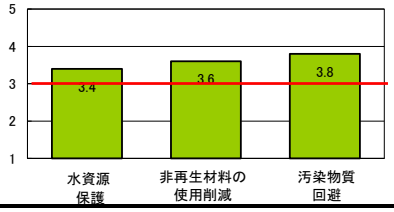


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.1

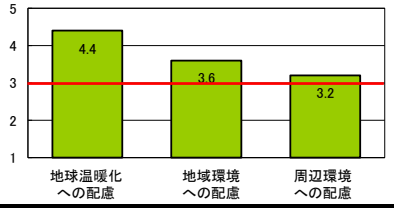
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 4.9



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.6



LR3 敷地外環境　LR3のスコア= 3.7



3 設計上の配慮事項

総合
木造2階建ての事務所ビルとして、環境性能と地域性に配慮した設計を行いました。国産材を構造材として活用しています。焼杉による外装や壁面緑化により、地域と共生しながら快適な執務環境を実現しています。

その他
設計段階からモジュール化・プレカット化を徹底し、現場での廃材発生を抑制。使用材料には再生材・リサイクル材を積極的に取り入れ、資源循環型の建築を目指しています。建設時・解体時の産業廃棄物削減と分別処理の体制を整備し、持続可能な資源管理を実現しています。

Q1 室内環境
自然採光と通風を最大限に取り入れた計画とし、快適で健康的な執務空間を確保。木材の質感を活かした内装仕上げとし、心理的にも温かみのある空間としています。

Q2 サービス性能
建物内には多目的トイレを設け、バリアフリー動線を確保。すべての利用者にとって安全で快適な施設を目指したユニバーサルデザインを採用しています。BCP対応も視野に入れ、継続利用性にも配慮しています。

Q3 室外環境（敷地内）
外壁には伝統的な焼杉板を用い、耐候性・防虫性を高めつつ、地域の景観に調和する表情を創出。植栽計画により、周辺環境との一体感を高めながらヒートアイランドの緩和にも寄与しています。

LR1 エネルギー
高断熱・高気密設計に加え、高効率空調・照明により一次エネルギー消費量を大幅に削減。

LR2 資源・マテリアル
構造材には、一般的に流通する正角材を接合した国産のBP材を採用。環境負荷を抑えつつ、高強度かつ安定した品質を実現します。外装には焼杉を使用し、再塗装の不要な長寿命素材で維持管理負担を軽減。内装材にも自然素材を選定し、資源循環に配慮した建材を積極的に使用しています。

LR3 敷地外環境
周辺の街並みとの調和を図りつつ、建物のスケール感や自然素材による外観デザインで景観への配慮を行っています。建物高さや配置は、周辺の日照・通風環境に配慮し、良好な地域環境の形成に貢献します。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE名古屋　評価結果

重点項目スコア・結果シート

西区牛島オフィス事業所棟

■使用評価マニュアル：　CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト：　CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目			評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策					4.6
LR1	エネルギー		4.9	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮		4.4	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.05	
2. 自然共生					3.1
Q3.1	生物環境の保全と創出		3.0	0.09	
Q3.3.1 / Q3.2	地域性への配慮、快適性の向上 / まちなみ・景観への配慮	地域性のある材料の使用※1	有	0.009	
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.045	
3. 循環型社会					3.6
LR2.1	水資源保護		3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減		3.7	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制　※2		3.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策　評価点 ＝ 4.6

2. 自然共生　評価点 ＝ 3.1

3. 循環型社会　評価点 ＝ 3.6

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{\text{(評価点×全体に対する重み)の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1　ここでは、Q3．3．1の評価する取組みのうち評価項目　I　2）地域性のある材料の使用　又は、Q3．2において評価する取組みのうち評価項目　4）地域性のある素材による良好な景観形成　のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3．3．1の全体に対する重みに0．2を乗じたものとしている。

※2　ここでは、LR3．2．3のうち、LR3．2．3．3　交通負荷抑制　を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3．2．3の評価点とは異なるものである。